

第2回 第6期中原区区民会議 会議録

日 時：平成28年10月11日（火）午後2:00～4:00

場 所：中原区役所5階503会議室

出席者：成田委員（委員長）、井上委員（副委員長）、槁本委員（副委員長）、伊藤委員、岩崎委員、内田委員、梅原委員、小野山委員、梶川委員、児玉委員、鈴木（功）委員、鈴木（晴）委員、関口委員、田邊委員、中森委員、萩原委員、森委員、山崎委員

【委員18名】

鈴木区長、高橋副区長、池谷担当部長、永山部長、大塚所長、浅川副所長、南担当部長、越畑課長、村田担当課長、鈴木企画課長、塚本担当係長、中野職員、澤村職員、山口職員

【事務局（中原区役所）14名】

岩下【コンサルタント（㈱カイト）1名】

傍聴者：1名

1 開会

開会宣言

資料確認

会議の公開について

2 会議録確認委員の選任（進行：成田委員長）

第2回区民会議の会議録確認委員は安藤委員と岩崎委員が務めることとなった。

3 議事進行：第6期区民会議の審議テーマについて

槁本副委員長が資料1に基づき運営部会での議論内容を説明した。

事務局から資料2に基づき中原区役所でのこれまでの防災への取組を説明した。

【意見交換】

内田委員 避難訓練、避難所開設訓練、災害訓練の違いをみなさんに知ってもらいたい。

防災訓練、災害訓練の内容をそろそろ変えていってもよい。災害時の誘導訓練は今までやってきた、しかし避難所開設訓練は28避難所中3箇所もやっていないと思う。お世話される側ではなく、お世話する側をテーマとして取り組みたい。

田邊委員 内田委員の発言内容は包括ケアシステムそのもの。自分たちが出来ることを考えることが大事と考えている。運営部会でも発言したが避難所での中学生の活用。

日中地域におり、力もあるため災害時に活躍できる。中学生の活用も取組に入れたい。

岩崎委員 中原区内にある企業として普段から鉄道事業者、民間事業者や商店街などと連携した取組が出来ればよいと考えている。

伊藤委員 避難所に指定されている小学校で起震車などを使って避難訓練している。備蓄倉庫の中身を確認し各自で備えることの大切さを説明した。また今年度は、11月13日の訓練で私の住んでいる井田地区は土砂災害の可能性のある地域なので、地域がどんな地形になっているか把握出来るように説明する。現在はDIGなどを体験してい

る。一気に多くのことを体験するより、一つ一つ回数を重ねて実施している。また、高齢者はQRコードの読み込みなどのやり方がわからない。面倒と思わず一つ一つ教えていくことが大切と考えている。また、自分ごとと考えられるような取組をしたい。

中森委員 国際交流協会では4年前から外国籍の住民の災害時の心配事をアンケート調査している。調査結果に基づいて中原区役所危機管理担当職員を講師に招いて研修会を行った。今年8月の総合防災訓練に参加した。そこで外国籍住民の受入れ方法や、避難所で何が出来るのかを学んだ。避難所運営に協力したい外国籍住民は多くいるが、どうやって協力していいのかわからない。協力の仕方を考えていかなければならない。訓練に参加していた災害ボランティアから中原区内では避難所開設・運営訓練は少ないと聞いた。初めて避難所開設訓練をしたが上手く出来なかったことがあるので、避難所開設訓練も取組に入れた。

森委員 町会で災害時の講習を行っているが、三角巾の使い方などで、大々的なものは行っていない。11月20日に今井中学校で炊出しなどを取入れた避難所運営訓練を行う。

関口委員 「助け合いが当たり前」というまちにしたい。避難所訓練に参加者がいつも参加している訓練を卒業できるような取組をしていきたい。もう一つは、無関心の人が多いような気がする。そういう人達にどうやってPRをしていくかを大きなポイントに挙げたい。

鈴木（晴）委員 多世代の方が参加するDIGの講習会に出席したときの経験から、世代交流が気になっている。中学生の力も活用してほしい。

鈴木（功）委員 世代間交流という話から、若い世代が一番世代交流が難しいと考えている。

児玉委員 ボランティアの経験から、車椅子の利用者が災害にあった場合の対応方法を町会等も加わって話をしていきたい。

内田委員 手をさし伸べてもらうよりは手をさし伸べようよ。お世話されるよりはお世話する方になろうよ。ということを重ねて言いたい。避難所で何が出来るかを学ぶため避難所開設訓練に取り組みたい。

小野山委員 情報弱者、転入者は地域のことがまったくわからない。そういう方に対して避難所などの場所をミニマップ化して備えておくことが大事。また 中高生が避難所や他のところでも活躍できると思う。避難しなければならない状態になったときにどこに支援を求める連絡をすればいいのか、子育て世代の方や支援が必要な方は遠慮する気持ちがあり連絡しないこともある。連絡方法や 指令系統が目に見えてわかるものがあればいいなと考えている。

山崎委員 自主防災組織などをアピールすることにより、防災に興味を持ち、一人一人が考えられるようになるとよい。また、高齢者、体の不自由な方や子どもなど、自分を守れないひとへの支援は必要と考えている。守れない人に対して守れる人がどうするかが重要。避難所での自主防災組織などの動きなどを実際に見てみたい。

梶川委員 本日の議論は文化協会に持ち帰って共有させていただく。

4 区民会議の流れについて・課題調査部会の流れについて

資料3「区民会議の流れ」に基づき、進め方等について確認した。

資料4「課題調査部会について」に基づき、課題調査部会の概要を説明した。

5 課題調査部会委員選出

井上副委員長、伊藤委員、内田委員、梅原委員、児玉委員、鈴木（晴）委員、関口委員、田邊委員、中森委員

以上9名が課題調査部会委員に選出された。

6 参与からのコメント

川島参与 多くの方が支えるほうに回るには行政が守ってくれる、誰かが守ってくれだろうという意識を変えるためには、現状ではそうでないことを区民会議が発信することは非常に効果があるのではないか。現状を知ってもらうというのが大切だと思っているのでそういう取組もしていただきたい。

重富参与 運営部会でテーマを決める過程がしっかりと資料になっていたのによいと思う。今日の会議でテーマの文言が話題になったこともよかった。支えられる側でなく、支える側が変わっていくような取組になっていくのかなと思っている。

7 閉会

（以上）